



協会だより

Japan Tourism Facilities Association



5月

No.91

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2013年5月1日

インバウンド3000万人へ向かって 「エコの未来は世界を迎える美しい日本」

会長 中山庚一郎

素敵なもの不思議なもの、美しいもの、おいしいもの、優しい気持ちのいいものには、人々を呼ぶ「力」があります。私たちの技術や製品にも人々を呼ぶ「力」が必要です。

今私たちの持っている技術や製品は、21世紀を呼ぶ力をもっているでしょうか、その中のどれが未来へ繋がるのでしょうか。20世紀の技術や製品は一人一人の生活の向上や利便に役立ってきましたが、21世紀にはさらに、地域や、環境やそして世界の中の「日本」という方向が強まります。

目指すはこの日本の自然や地域、生活の風習、地域の歴史や文化を生かしながら、最先端の技術を使った自然との共生や、これまでに世界にない快適な持続可能なシステムを実現していくことです。

おかげ様で協会の活動は少しずつ社会に広がっていき、今年度はエコ達人村の「エコの考え方で施設のエネルギーを小さくするエコ・小」の活動が環境省に認められ、モデル事業や広域CO2削減活動など2000万円を超える助成が決まり、新たに発足したエコ・小委員会が取り組みを始めました。

また政府は国土強靱化政策の一つとして、災害時の地域における観光施設の重要性が認識され、5000m²以上の施設の耐震化工事が法律として上程しています。

さらに観光立国として、日本の観光力を向上させ、インバウンド3000万人を目指す、それは、平均滞在日数5泊として延1.5億人もの日本滞在であり、その受け皿も早急に整備しなければなりません。

観光の社会的役割は、今後非常に大きなものになっていきます。

2013年は協会発足60周年です。この時にこそ公益法人としてこの協会が、社会に対して、何をしようとしているのかを知らせる事業を行いたいと声が上がリ、60周年事業実行委員会が発足しました。

- 1、私たちの技術や製品が、どのように日本の未来へつなげるのか知らせよう。
- 2、会員全員参加の事業としよう
- 3、それを知らせるために、5000人の人々に来てもらおう。

この3つの目標をかかげました。

私たちの協会の会員は、日本有数の企業です、世界からのお客様を迎え、感動させ、共感をうる日本独自の受け皿をつくらねばなりません。

私たちの持つ技術が、21世紀の日本に何をすることができののかを、公益として、CSRとして社会に知らせましょう。

皆様のご賛同、ご協力を期待します。

平成25年度の通常総会と関連行事 お知らせ

昭和28年に当協会の前身であります『国際観光設備協会』が設立されました。平成25年度は数えて60周年の年を迎えることとなります。多くは60周年記念総会と合わせて記念行事が開かれますが、当協会は今年度開催する事業全てに“60周年記念”を冠にして会員はもとより社会に向かって60周年をアピールしてまいります。

会員企業全社参加を期しての記念事業については目下、60周年事業実行委員会にて検討中で通常総会で発表の予定です。

通常総会および交歓会は次の通り。

日時：平成25年6月14日（金）15時30分～19時

場所：ホテルメトロポリタン・エドモント

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8

スケジュール（予定）

・通常総会（1階クリスタルホール）

15時30分～17時30分

・情報交歓会（2階万里）

17時45分～19時

下町の伝統技術見学会 報告

隅田区内には今も約三千の製造業があるという中今回東武亀戸線小村井駅近くの工房を回った。二班に分かれ26名が訪れた。一つは黄銅を主とした鋳造品製作の東日本金属、建築金物等を昔ながらの手作業で溶解炉から砂型に流し込む一連の工程が木造小屋で営まれていた。熱気あふれる技術者魂に触れた。次に桐箆笥作りに修練を積んだ田中さんの二葉桐工房。古い箆笥を現代住まいで使い易いデザイン提案もして蘇らす仕事振りの話に、桐材表面を焼く実演もあいまって感動。今度は楓岡ばね工業、バネ製造とバネを用いた生活オリジナル品作り。その卓越した技術が生んだパーホルダーはMOMAの商品になったと、又驚き。鋳物屋三代目小林氏も加わり懇親会。伝統と新時代への想いへの対話の時間も最後の感動。次も続けよう。

新規設置委員会について

協会事業を推進するにあたり下記2つの委員会を設置することとなりました。

1. 60周年事業実行委員会

協会設立60周年にあたる平成25年度を迎えるにあたり、協会にとって相応しい事業を平成25年度内に行うための実行委員会(委員長 鈴木副会長)を設置する。基本的には協会の存在を世の中に広く知らしめる企画とし、先ずは4月2日にアイデア出しの打ち合わせがおこなわれ4月17日に第1回実行委員会が開かれました。

2. エコ・小委員会

協会の公益目的事業1として『地域の自然や土地の力を生かし、スマートな小さな エネルギーのシステム「エコ・小」を提言、普及する事業』を掲げています。ホテルレストランショーの会場でのエコ達人村の無料相談デスクも4年を経過し 個々の旅館から地域全体をとらえた地域エコ・小に発展しつつあります。

具体的には

白骨温泉「地域エコ・小」活動推進コンソーシアム

環境省地球環境局の「平成25年度節電・CO2削減のための構造分析・実践促進モデル事業」が公募され、環境省の推奨もあって応募した結果採択されました。今後これらの活動を推進するにあたって常設の委員会として設置いたします。

平成25年度 委員長・分科会長・部会長の選任平成25年度の委員長等人事が以下の通り理事会承認が得られました。会員各位のご支援ご協力をお願いいたします。

_____は新任

会員増強特別委員会	委員長	森 一 朗
総務委員会	"	立石博巳
公益委員会	"	鈴木 裕
広報委員会	"	兼平 慎
事業委員会	"	馬場博久
技術委員会	"	鈴木 裕

ホテル都市分科会	分科会長	鈴木 裕
旅館観光地分科会	"	江中伸広
インテリア分科会	"	安藤勢津子
観光交流空間のまちづくり研究会	座長	中山庚一郎
エコ・小委員会	委員長	佐々山 茂
ホテルズ実行委員会	"	浅野 一行
60周年事業実行委員会	"	鈴木 裕
建築部会	部会長	森 一 朗
設備部会	"	横山 豊
インテリア部会	"	寺本昌志

新入会員紹介 (入会順)

[メーカー] 住友林業(株)	
(代表者)代表取締役 市川 晃	(担当者)木化推進室 チームマネージャー 杉本 貴一
〒100-8270 東京都千代田区大手町 1-3-2 TEL03-3214-2535 FAX03-3214-3861 業務内容: 山林の経営 木材・建材の仕入・製造・加工・販売 建築物の請負・販売	
[個人] 矢野 弘	
(株)エコ・サポート 代表取締役 〒270-0234 千葉県野田市日の出町 6-24 TEL04-7129-1520 FAX04-7129-1520	
[メーカー] 東洋バルブ(株)	
(代表者)代表取締役社長 大瀧 光夫	(担当者)設備営業部 環境営業グループ長 津野 宗正
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-8-1 T T -2ビル TEL03-3249-5311 FAX03-3249-5300 業務内容: バルブ及びその他の流体制御用機器及びその付属品 製造販売	
[個人] 横山 豊	
〒342-0033 埼玉県吉川市中曽根 2-3-10 TEL048-982-9664 FAX048-982-9664	
[メーカー] (株)エフラボ	
(代表者)代表取締役 松井 正尚	(担当者)東京事務所 課長 竹中 昭一
〒929-2214 石川県七尾市松島町小牧 19、9番3号 TEL0767-66-2111 FAX0767-66-2131 業務内容: 椅子張替	
[メーカー] (株)アドヴァン	
(代表者)代表取締役社長 山形 雅之助	
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-32-14 TEL03-3475-0281 FAX03-3475-0280 業務内容: 建材の輸入販売	
[個人] 八木 忠彦	
(株)ワイジーコーポレーション 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-2-1 御殿山アネックス 2号館 3F TEL03-3952-0152 FAX03-5421-3030	

◎編集後記◎

新年度に入り公益法人としての活動も2年目を迎えることとなります。公益目的事業として掲げています地球温暖化防止のための「小エネ」対策に関して、これまで進めてきた活動が大変高い評価を受け、この度環境省より「CO2削減実践推進モデル事業」の委託を受けたことは大変喜ばしいことであります。これも私達技術集団の本領を十分に発揮する良い機会が得られたものだと考えられますので、期待される以上の提言が出来るように、それぞれの立場で持てる知識と技術を駆使して、全員で事業に取り組んでまいりたいと思います。

Y . K